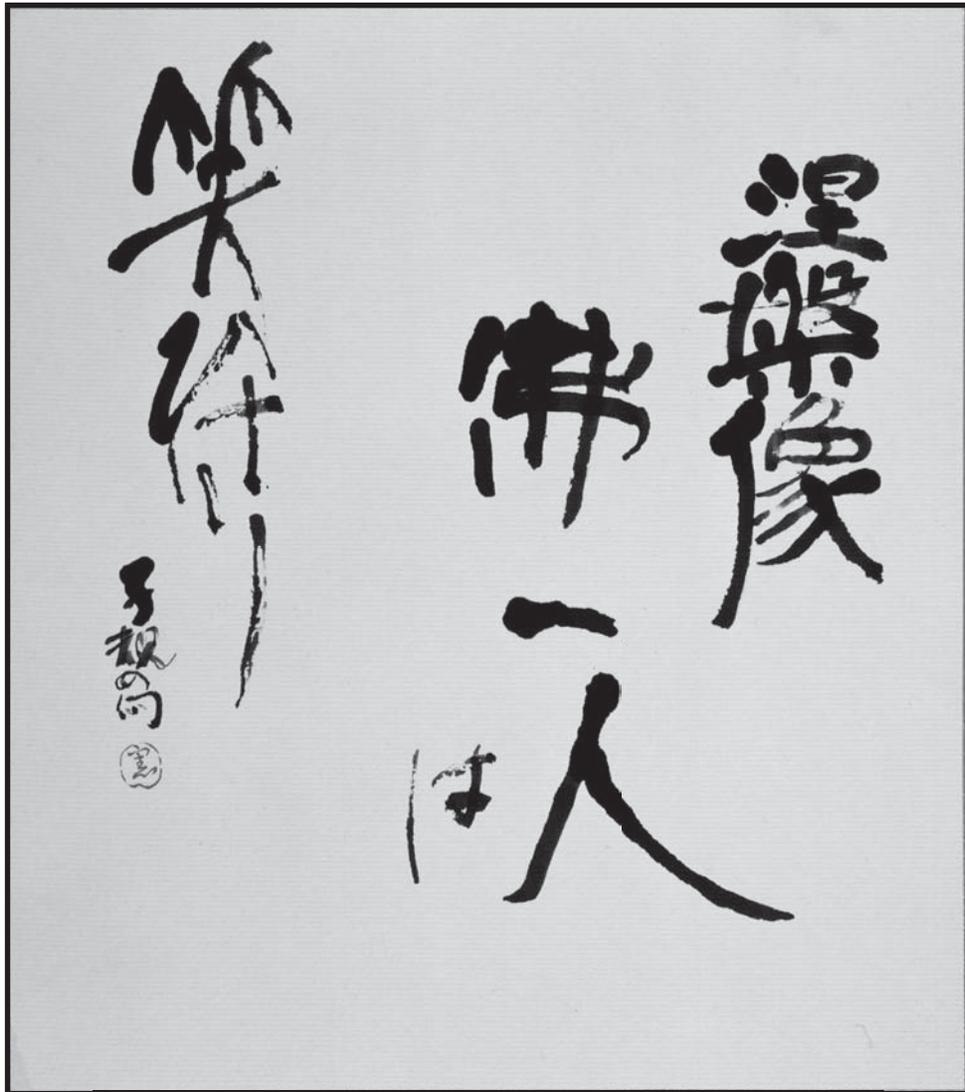


色紙を書く(9)

締切り 九月二十五日(必着)

奥村憲照先生書



〔出典〕 正岡子規

〔読み〕 涅槃像佛一人は笑ひけり。

※今回は調和体です。右はラウンドペン書きの作品ですが、毛筆のよ
うな太細・潤濁の変化が表現されています。

◎暮らしの中で一番身近で、親しみのある「書」といえば『色紙』ではないでしょうか。
◎家の玄関や応接間、お店や事務所など、至る所で様々な色紙を見かけます。
◎お祝いや記念にプレゼントしたり、揮毫を求められたりする機会も少なくありませんが、いざとなると、中々うまく書けないものです。

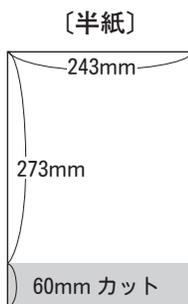
◎創立六十周年の今年は、奥村憲照先生の色紙作品を鑑賞するとともに、色紙の書き方を学びます。

◎色紙は特に、執筆者の個性が重んじられます。あまり手本にこだわらず、自己表現するつもりで自由に楽しんで書きましょう。

□作品の出し方

▼毛筆部 左図のように半紙を六〇mmカットして書いて下さい。これが一般的に使用される大色紙のサイズ(二七三mm×二四三mm)になります。

※本物の厚紙の色紙はかさばるため、使用しないで下さい。(色紙練習用の薄手のものは可)



▼硬筆部 右の大色紙を四分の一にすると、寸松庵色紙のサイズ(一三六mm×一一一mm)になります。

このサイズの紙を作るか、B5判の用紙に枠を引いてお書き下さい。用具は自由ですが、太目の筆記具(フェルトペン・マッチ棒・割り箸等)がよいと思います。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

魅

力

立

派

心

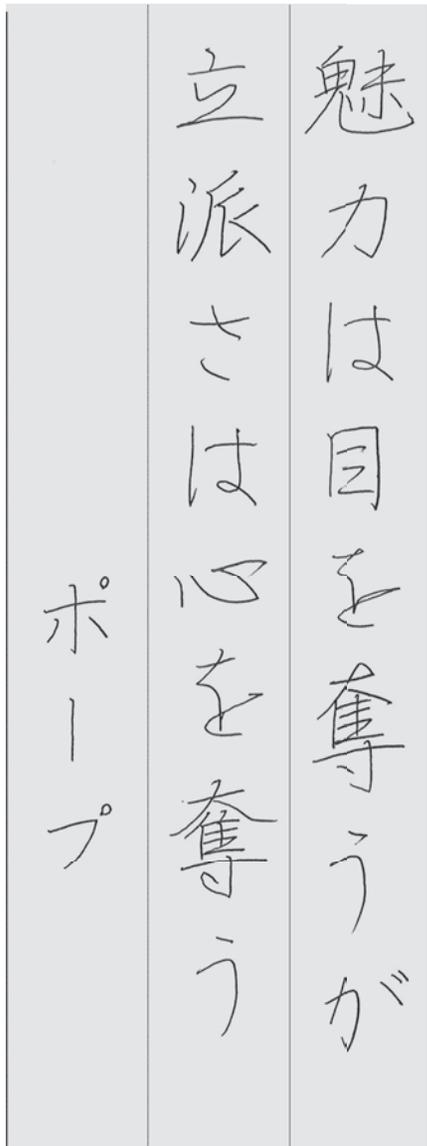
奪

奪

同字変化

◎今月は行書。日常で一番使用される文字で美しく書きたい。書の美を構成するものは形態、運筆、余白、そして個性も重要視される。その点も考慮しながら練習するとよい。

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。



おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕

真

賢

者

己

愚

知

中心線

知	己	真
る	の	の
者	愚	賢
なり	を	者
		は

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ▼教範・書範⇨行草または草書
- ▼師範⇨行書

◆10月課題予告(楷書)
一視にして同仁
近きに篤くして
遠きを挙ぐ

★魅力：(書体⇨行書)
ポープ(一六八〇七四)
イギリスの詩人・批評家
この場合の「魅力」は容姿について
言っています。美男美女には誰しも弱
く、つい目を奪われてしまうものです
が、真に尊敬を集め、心を惹きつける
ものは、人柄の良さや人間的な魅力で
はないでしょうか。

◆10月課題予告(行書)
一悪をもって
その善を忘れず
太宗

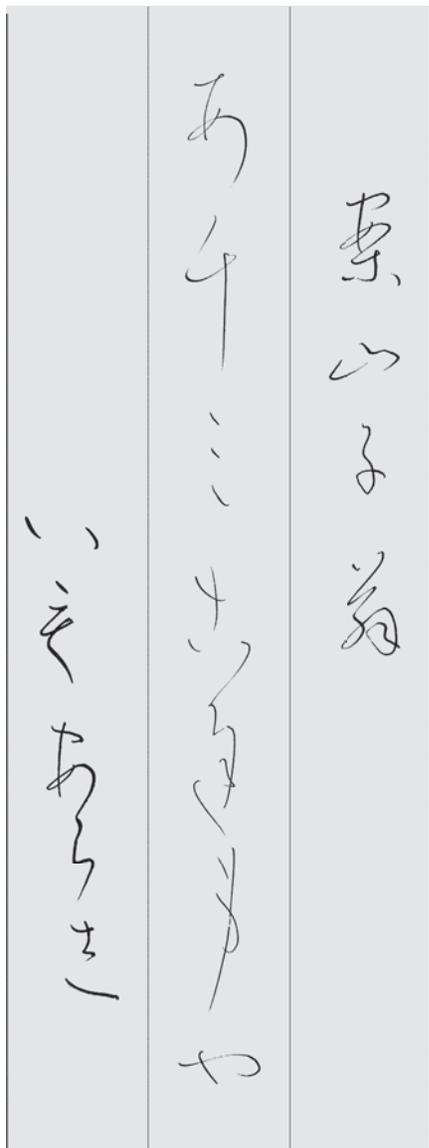
★真の：(書体⇨楷書)
ソクラテス(四六〇頃〜三九〇頃)
古代ギリシアの哲学者
ソクラテスの名言の中に「自分が無
知であるという事実のほかに私は何
も知らない」という言葉もあります。
深く探究すればするほど、人は自分
の無知に気付かされます。それを謙虚
に受けとめ、好奇心と忍耐力とをもっ
て成長しつづけたいものです。

一般部かな課題

締切り 9月25日(必着)

準初段から六段まで

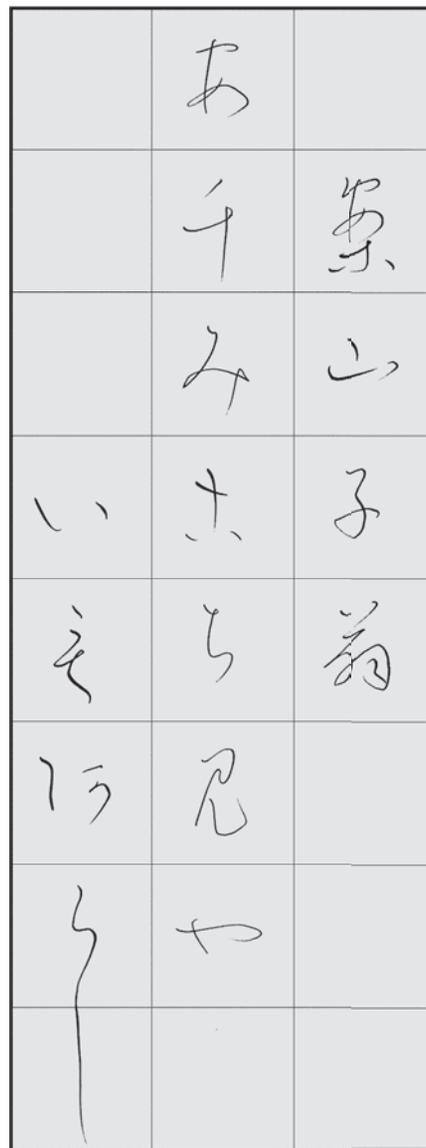
新入から1級まで



案山子翁^{千三古}あち見^{遅身}こち見^{い毛}や芋嵐^{あらし}

案山子翁^{千三古}あち見^{遅身}こち見^{い毛}や芋嵐^{あらし}

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



おお みや しゅん ちよう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

おお みや しゅん ちよう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

古^こ 古^こ 古^こ 古^こ 古^こ
遅^ち 遅^ち 遅^ち 遅^ち 遅^ち
身^み 身^み 身^み 身^み 身^み
毛^も 毛^も 毛^も 毛^も 毛^も
阿^あ 阿^あ 阿^あ 阿^あ 阿^あ
志^し 志^し 志^し 志^し 志^し

〔古筆参考〕

案山子翁^{かかしをう}あち見^みこち見^みや芋嵐^{いもあらし}
(阿波野青歌)
〔句意〕里芋畑を、秋の強い風が吹きめぐっている。芋の葉ははためき、畑の中の案山子も風にあおられて、まるで、農家の翁があたりをきよるきよると、あちら向き、こちら向きしているかのようなことだ。

◆10月課題予告

あはれ子^この夜寒^{よさむ}の床^{とこ}の引^ひけは寄^よる

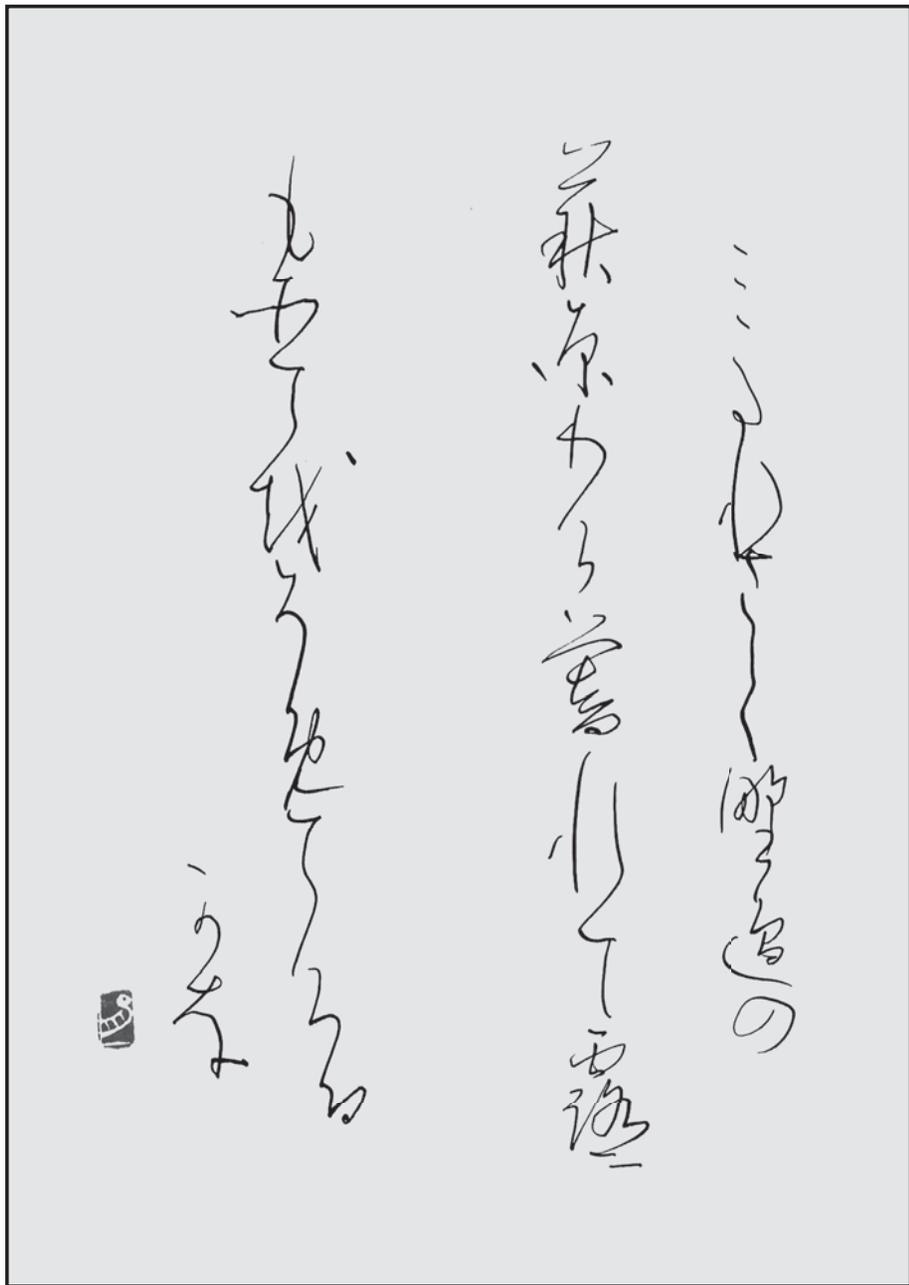
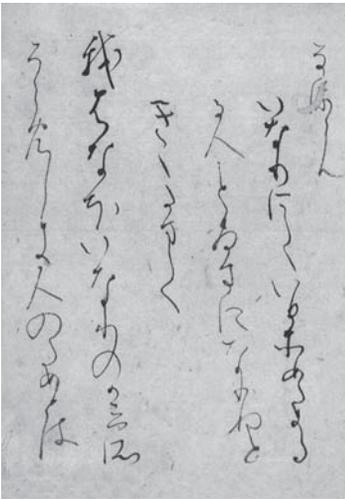
(中村汀女^{なかつらういしよ})

締切り 九月二十五日(必着)

築瀬舟香書

〔古筆参考〕

いちじょうせつしやうしゅう
一条撰政集



奈流 なるらむ

いなりにていひそめたまた

る人、ことさまになりぬと

きゝたまで

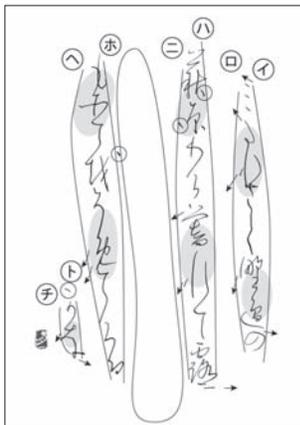
我はなほいなりのかみぞ

うらめしき人のためとは

乱れ咲く野辺の萩原分け暮れて
露にも袖を染めてけるかな

〔歌意〕萩の花が一面に乱れ咲く野に分け入って花をめでているうちに、日が暮れてしまい、袖は萩の花摺に染まったが、その上露にも染められたことだ。

〔出典〕山家集(新潮日本古典集成)
〔解説〕

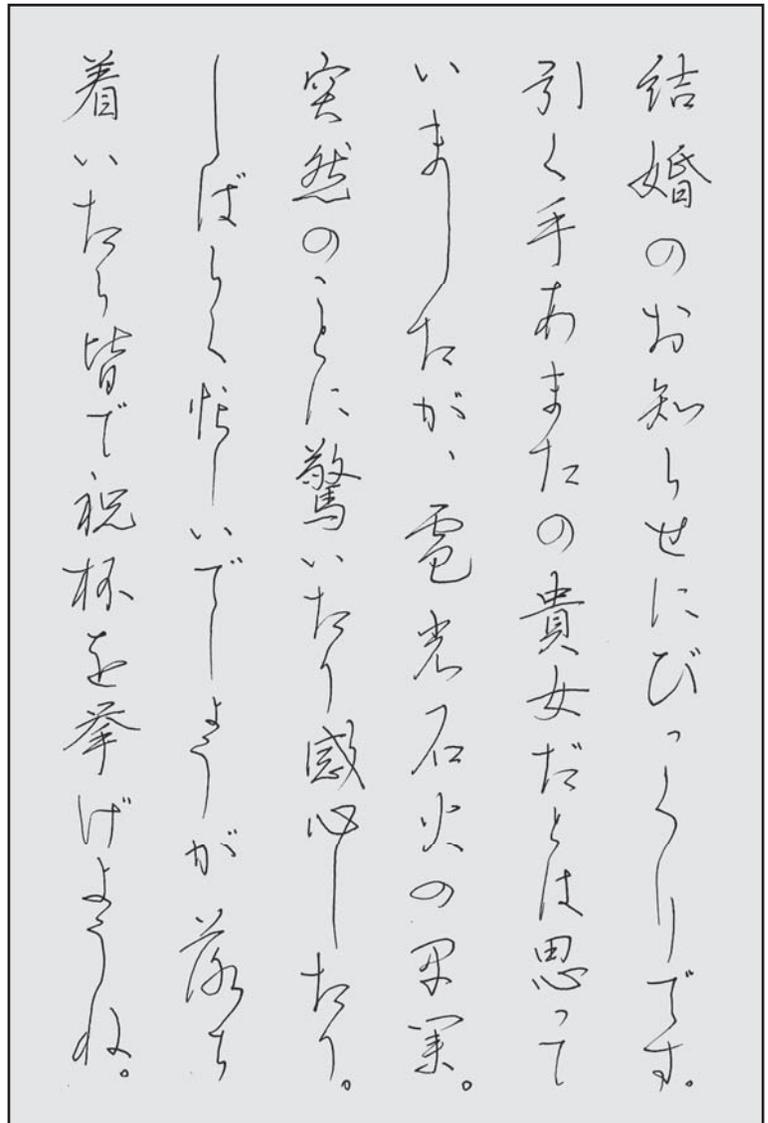


- ①と②、①と③、①と④、呼応。
- ①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、
- 行の揺れ、ふくらみを作る。
- 行の中の密の動き注意。
- 指向性で余白をしめる。
- の位置大切。
- 余白(間)が行を生かす。

◆10月課題予告
花薄心あてにぞ分けてゆく
ほの見し道の跡しなければ

締切り 9月25日(必着)

結婚のお知らせにびっくりです。
引く手あまたの貴女だとは思って
いましたが、電光石火の早業。
突然のことに驚いたり感心したり。
しばらく忙しいでしょうが落ち
着いたら皆で祝杯を挙げようね。



◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

友禅は、江戸中期に宮崎友禅が
案出した染色模様と伝えらる。
岩手県釜石市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 9月25日(必着)



則 好 弱 偏 固 自



準初段から師範まで

奥村暢之臨



新入から1級まで(楷書)

須田一葉書

〔出典〕書譜(687) 〔筆者〕孫過庭(649?~688?)

〔読み〕則ち好んで偏固に溺れ、自ら

※書譜の特徴「節筆」が明快な部分です。節筆を意識して書きました。

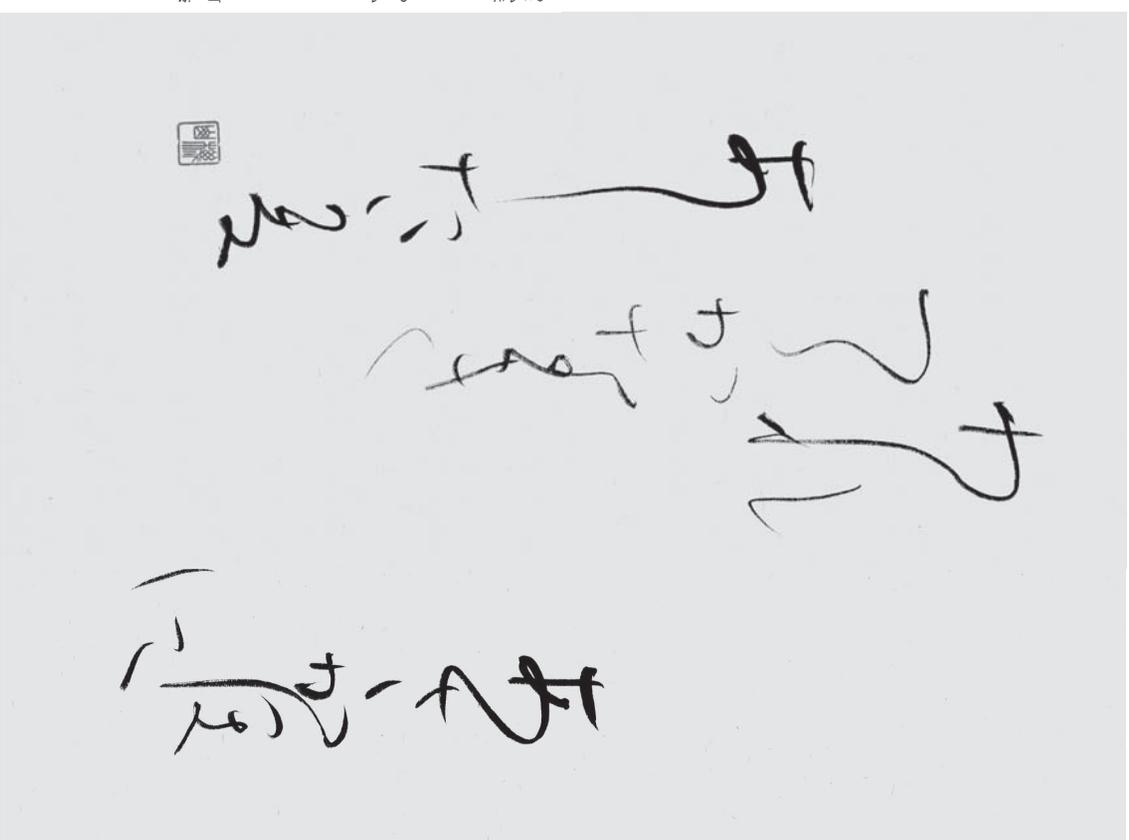
〔読み〕古木蟬を帯ぶるの秋

〔大意〕秋になり蟬の声も寂しい。

一般部毛筆かな課題

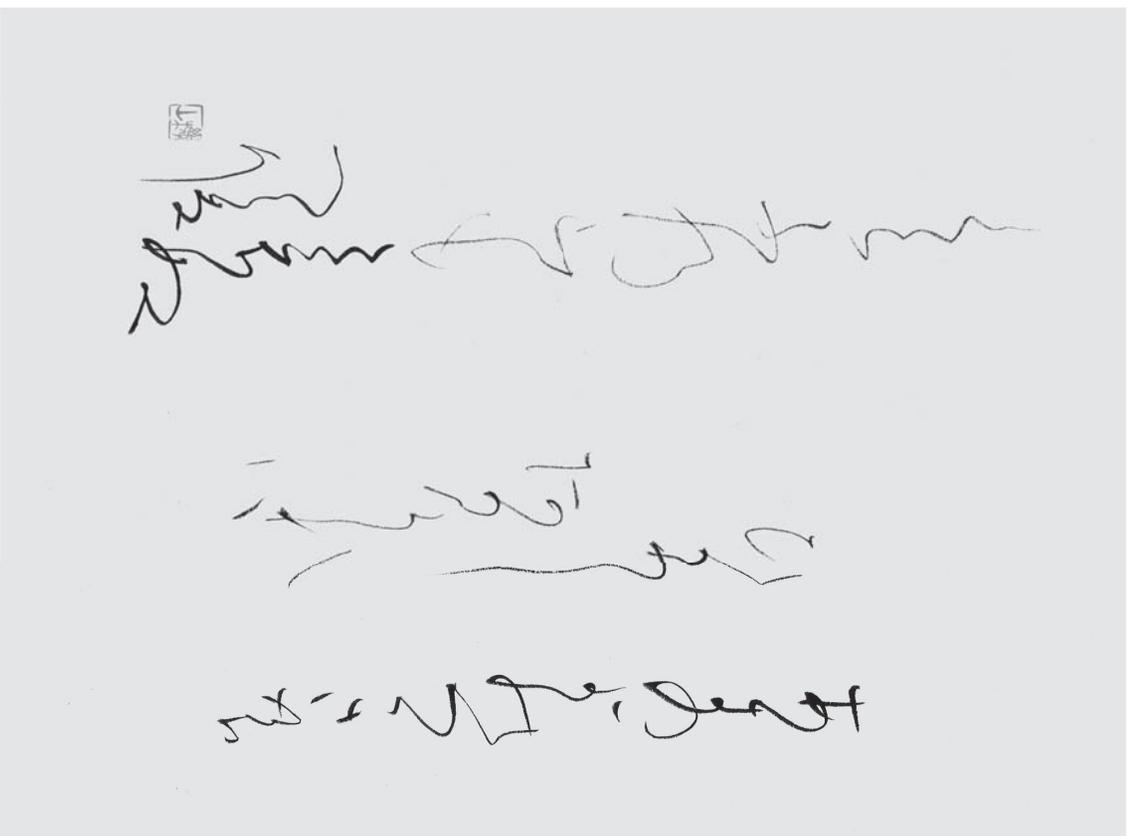
締切り 9月25日(必着)

新入から1級まで



浅井機山先生書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

秋の夜のひかりしあかければ
くらぶの山もこえぬべらなり

【出典】 在原元方

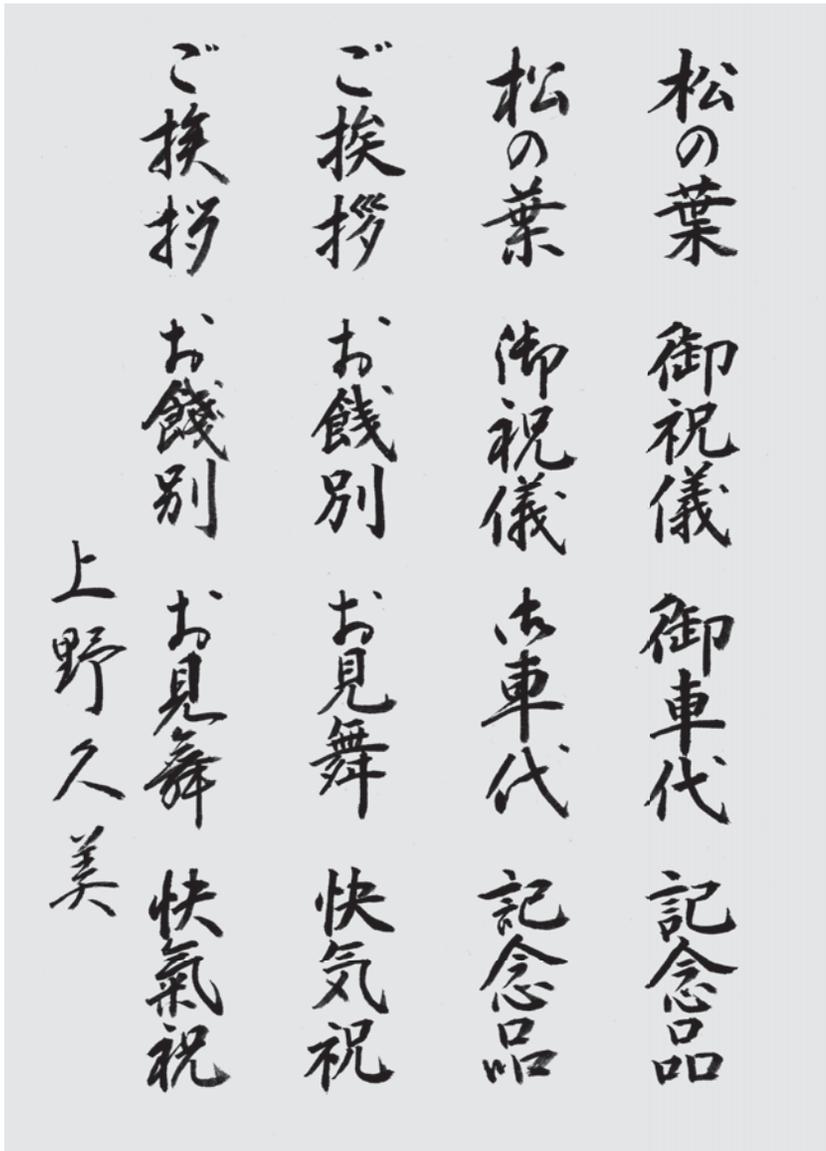
【歌意】 秋の夜は月の光が他の季節とちがって明るいので、暗いという名の闇部山も越えられそうだ。

【出典】 正岡子規

【句意】 早朝見事に咲いた朝顔を愛でている。今日も元気であるありがたさをつくづく感じる。

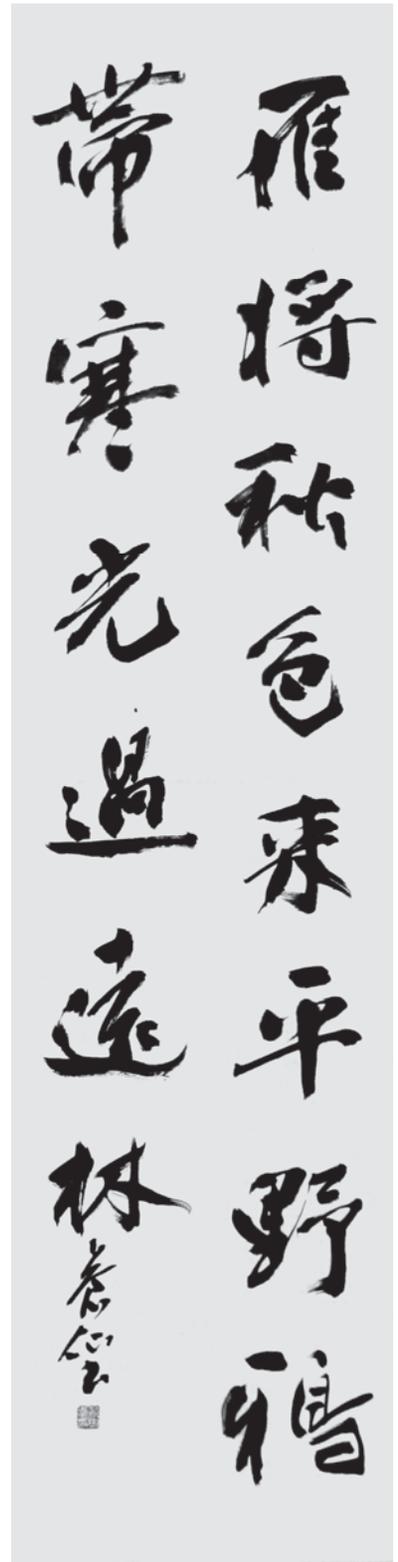
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

松の葉 御祝儀 御車代 記念品
ご挨拶 お饞別 お見舞 快気祝
上野久美



締切り 九月二十五日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

萩田蒼仙書

- ▼今回は、のし紙・のし袋の表書きの練習をします。右の語句を、楷書と行書の二書体で書いて下さい。
 - ▼書体は楷書で書くのが正式ですが、一般的には少しくずした行書で書いても失礼にはなりません。むしろ親しみがあっていいでしょう。
 - ▼書道が始めるきっかけの第一に「表書きをきれいに書きたい」があげられます。心をこめて丁寧に書きましょう。
- 〔条幅・細字作品の出し方〕
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
 - 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
 - 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅解説〕文鎮を置かなくても紙が動かない筆庄で書く…。遙かに上位の先生の作を紙の裏から見ると、一見軽やかな線だが、表から見ると線が鋭く強く迫力のある作である事を知って驚いた経験があります。今もって未熟な私です。

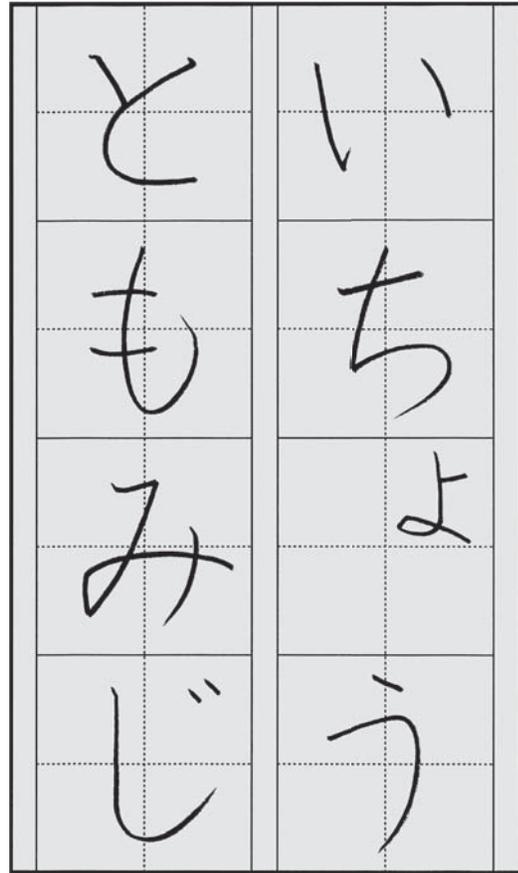
松の葉 御祝儀 御車代 記念品
ご挨拶 お饞別 お見舞 快気祝

雁将秋色来平野
霜寒光過遠
林蒼仙

〔大意〕雁は遠くより秋の訪れを携えて平原にやってきた。鳥は寒光を帯びて遠くに見える林を過ぎてゆく。

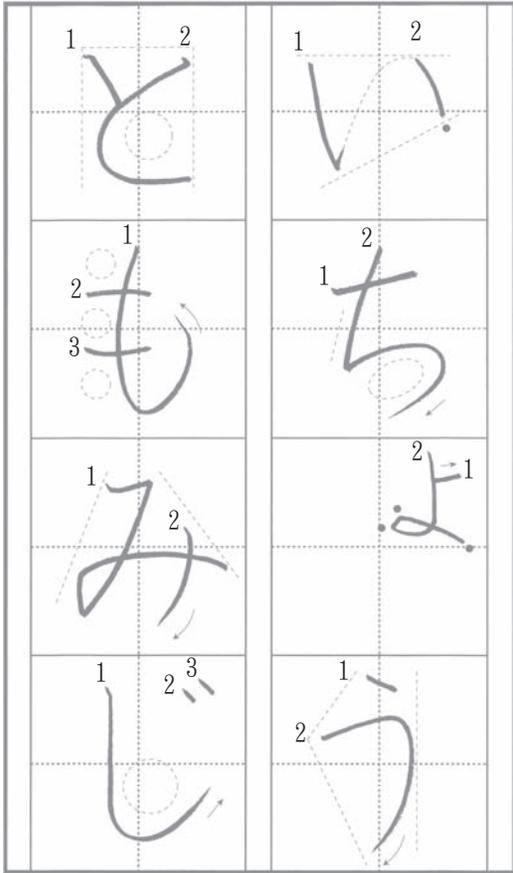
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

よ
う
年



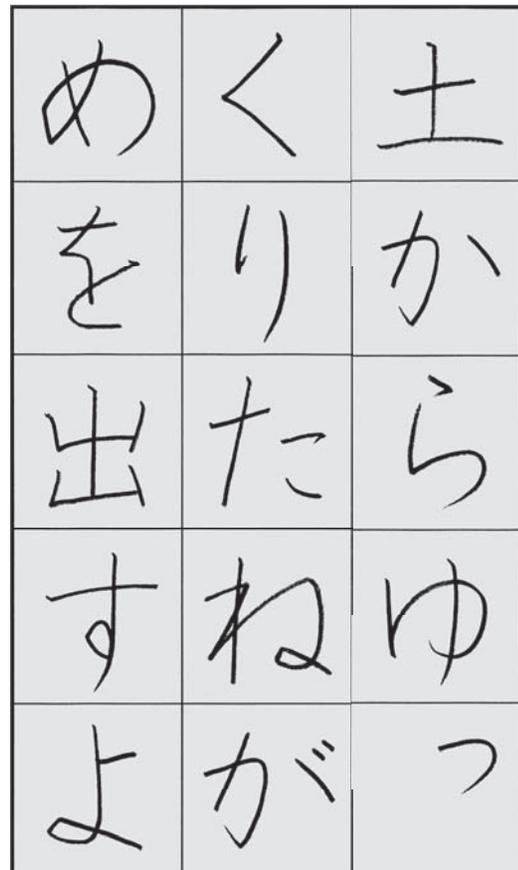
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこ)

小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入〜1級

準初段以上



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

小二年

五	た	弟
さ	ん	は
い	生	九
で	日	月
す	で	の

準初段以上

小三年

ち	題	夏
よ	に	休
金	工	み
箱	作	の
を	で	宿

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

の	弟
た	は
ん	九
生	月

新入〜1級

よ	工
金	作
箱	で
を	ち

新入〜1級

〈用具 自由(黒色に限る)〉

る	満
十	月
五	さ
夜	え

新入1級

十	満	明
五	月	か
夜	さ	り
で	え	消
す	る	し

小四年

準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

別	防
賞	犯
入	絵
	特

解説(よく見て習いましょう)

別	マ	防
賞	の	犯
に	絵	を
入	が	テ
る	特	1

小五年

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

(全員)

用具自由(黒色に限る)

い(り)	フカ	カ	リキ
お(そ)(か)	一十士	士	シ
お(こ)(な)(う)	一十土	土	ド
	一十伊伊俵	俵	ヒヨウ

解説(よく見て習いましょう)

に	入	力
行	り	士
わ	が	の
れ	廠	土
た	か	俵

小六年

(全員)

確	難	建
か	経	物
わ	路	内
ま	岡	の
す	を	避

中二・三年

(行書)

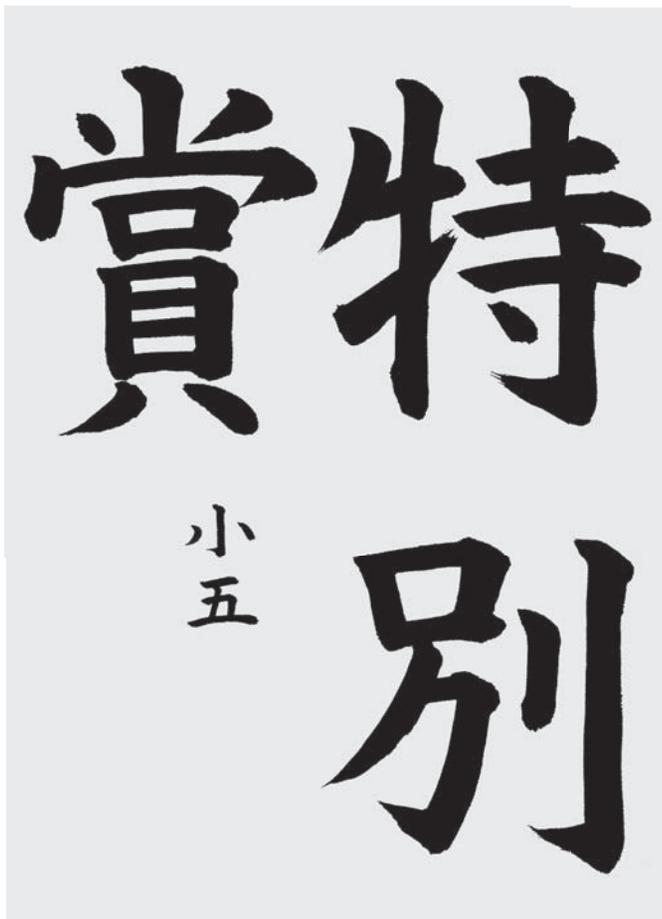
記	を	身
を	観	近
付	察	な
け	し	昆
る	目	虫

中一年

(行書)

幼年〜小二年
玉樹小華書





小三こさん、小五こご年
水野香竹書みずのこうちく

中二
経 避

小六
入 土

路 難

り 俵

小六(中二・三年)

奥村暢之書

中 心
察

俵

避

入

難

観

中一
日 観

記 察

「くずし字の覚え方」

▼行書や草書を覚えるためには、部首などの漢字共通の部分のくずし方から覚えるのが早道です。奥村憲昭先生揮毫による、部分別の楷行草三体と行・草の字例をまとめました。わずかこれだけでも応用がきいて、くずし字が身近になるでしょう。

馬	食	耳	米	禾	立	石	月	火	巾	シ	イ	偏 <small>へん</small>
馬	食	耳	米	禾	立	石	月	火	巾	シ	イ	
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	
馳	飲	職	粉	和	端	破	服	燈	情	海	使	
馳	飲	職	粉	和	端	破	服	燈	情	海	使	

鳥	專	兌	寺	成	兄	令	月	斤	爰	彡	匕	旁 <small>つくり</small>
鳥	專	兌	寺	成	兄	令	月	斤	爰	彡	匕	
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	
鳴	傳	悅	特	城	祝	冷	朝	新	投	形	化	
鳴	傳	悅	特	城	祝	冷	朝	新	投	形	化	

𠂇	鄉	門	雨	高	夂	艹	山	广	口	尸	人	冠・垂・構 <small>かんむり たれ かまえ</small>
𠂇	鄉	門	雨	高	夂	艹	山	广	口	尸	人	
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	
学	響	間	雪	亭	登	落	家	店	国	居	会	
学	響	間	雪	亭	登	落	家	店	国	居	会	

豆	走	糸	貝	衣	示	皿	心	心	止	又	辶	脚・繞・その他 <small>あし にょう その他</small>
豆	走	糸	貝	衣	示	皿	心	心	止	又	辶	
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	
豊	越	繁	買	袋	票	盤	思	然	歴	延	送	
豊	越	繁	買	袋	票	盤	思	然	歴	延	送	